都市マス部会の流れ（想定）

参考資料２

【都市計画マスタープランの構成】

都市計画マスタープランの前提（第１章）

本マスタープランの役割や位置付け，対象範囲や期間，見直しの考え方などについて示します。

都市の動向（第２章）

京都市の特性や，京都市の現状と動向などを示します。

全体構想　～都市の将来像～　（第３章）

都市計画の理念
京都市基本構想に即した，都市計画の理念を示します。

都市計画に関する基本的な考え方
全市的な都市づくりを貫く大きな考え方を示します。

↓

目標とする都市の姿
目標とする都市の姿を５つの面から示します。
（「環境」「経済」「生活」「文化」「安心・安全」）

↓

戦略的な視点
目標とする都市の姿を，戦略的に目指します。

全体構想　～都市計画の方針～　（第４章）

・目標とする都市の姿の実現に向け，京都市全体としての都市計画の方針を，都市計画の分野毎に定めます。

○土地利用	○歩くまち	○景観
○防災	○道路	○公園・緑地
○市街地整備	○水・河川	
○その他市民の暮らしを支える施設		

・具体的な手法については，都市計画の方針に即した上で，その時々に応じた多様な手法を選択できるものとします。

＋

地域まちづくり構想　（第５章）

・都市計画として対応が必要な地域のまちづくりを支援するため，地域との協働により，地域の将来像とまちづくりの方針を定めます。
・地域まちづくり構想は，順次策定，追加，見直しを行います。
・具体的な構想については，「地域まちづくり構想編」で示します。

第１回

【見直しの趣旨】
○検討の位置付け
○基本的な枠組み

反映

【見直しの視点】

第２回

【都市の将来像の議論】

反映

【都市計画の方針の議論】

反映

【方面別指針の視点】

第３回

【総合的・即地的な議論】

【方面別指針の議論】

追加

第４回

【総合的・即地的な議論】

【方面別指針の議論】

第５回

【プラン全体の議論】

（パブコメ素案の検討）